

2021年度(後期)

## NITE講座(シラバス)

科目名	“バイオものづくり”の社会実装を目指して	募集定員	450名	開講機関 (実施方法)	製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジーセンター (オンライン講座:Zoom)	講義日時	2022年3月10日(木) 14:00~15:40
科目概要(300字)	<p>バイオテクノロジーは、医薬品やヘルスケア、食糧、エネルギーなど幅広い分野で活用され、人々の生活に欠かせない技術です。近年は、カーボンニュートラルやSDGsなど、持続可能な社会の実現に向けて、再生可能な新素材を生み出す“バイオものづくり”の概念も浸透しつつあります。地球規模の社会課題の解決において、あらゆる分野で今後ますますバイオテクノロジーの利活用が期待されています。また、デジタル革命の急激な進展とともに、データ駆動型の研究開発といった新たな時代を迎えています。</p> <p>本講座では、生物資源を多面的に利活用するための有用な情報を提供します。本講座を受講することにより、生物資源及びその情報の入手、利活用に必要な知識を得ることができます。</p>						

科目構成	No.	講義名	講義概要(150字)	講義日	時間	開講場所	講師	所属
講座概要	1	産業界におけるバイオテクノロジー利活用の最新動向	社会の急激な変化に伴いさらに注目されつつあるバイオテクノロジーの利活用について、最新動向を交えて本講座の趣旨をご紹介します。	2022年 3月10日 (木)	14:00~14:10	オンライン (Zoom)	常見 知広	計画課バイオエコノミー戦略室
産業界における バイオテクノロジーの 利活用に向けた -生物資源利活用編-	2	生物資源の提供について	NITEでは、ISO9001による管理がなされた国内外の研究者から寄託された微生物であるNBRC株と、スクリーニング用途として独自に収集し属レベルでの同定がされたRD株の提供を行っています。本講義では、新たに開始したオンラインによる菌株利用の手続きや、データから菌株を探して入手することが可能なDBRPとのリンク活用法等についてご紹介いたします。		14:10~14:30		柴山 洋翔	生物資源利用促進課
	3	生物多様性条約：海外遺伝資源の利用及び遺伝子組換え生物の利用について	生物多様性条約(CBD)は生物多様性の保全、持続可能な利用、利益の公正かつ衡平な配分を目的としています。遺伝資源の利用時にはCBDやその下の議定書に基づいた手続きが必要となります。本講義では、海外の遺伝資源を利用したり遺伝子組換え生物を鉱工業利用したりする際に円滑に手続きを行うためのNITEの取組についてご紹介いたします。		14:30~14:50		船曳 理恵	生物多様性支援課
	-休憩-				14:50~15:00			
	4	特許微生物寄託制度について	特許微生物寄託制度は、発明に係る微生物を寄託機関に寄託し、一定の条件下で分譲を可能とすることで、当該発明に係る微生物の存在を担保するとともに、第三者がその発明を実施することを可能とするものです。本講義では、特許制度の解説及び、寄託手続きに係る一部様式の変更についてご紹介いたします。		15:00~15:20		黒岩 誠	特許微生物寄託センター
バイオ×デジタルの 融合に向けた -データ利活用編-	5	DBRPの新しいデータと新機能	DBRP(生物資源データプラットフォーム)では、情報をリンクづけし集約することで、生物の基本情報だけでなくその関連情報も一元的に提供しています。今年度、新たに追加されたデータやDBRPの機能についてご紹介いたします。	15:20~15:40	牧山 葉子	計画課バイオデジタル推進室		